



平成 24 年 4 月 12 日
イーハトーブ株式会社

中高年向けソーシャルメディア「出番！」の新機能サービス「電子書籍ビューア」の追加について

中高年向けソーシャルメディア「出番！」(<http://debang.jp>)を運営するイーハトーブ株式会社は、会員が作る小説やエッセイなどの「作品」を電子書籍にし、スマートフォンやタブレットでも閲覧できるポイント課金の新機能、「電子書籍ビューア」のサービスを開始しました。

本機能を利用することにより、見栄えがよく、読みやすい作品を作成することができます。

1. サービスの概要

現在、会員が作成する小説やエッセイ等のいわゆる“読み物”は、通常のワードによる文章のように横書きが一般的です。ところが、自然科学系の書物や論文を除けば、日本の“読み物”は圧倒的に縦書きでしたためられてきましたから、作者も読者もそれを望むのは当然です。

「電子書籍ビューア」はその要望にこたえ、会員が横書きで作成した文章を、このシステムを利用することによって自動的に縦書きに変換できます。

したがって、これらの作品は通常の書籍同様、作者が縦書きに変換することはもちろん、明朝とゴシック体の 2 種類のフォント(書体)と大小 2 種類の文字の大きさを選択することができ、お気に入りの書体、文字の大きさに設定して展示できるのです。

また、読者も同様に、お気に入りの書体、文字の大きさに読むことができます。

(サービス事例) <http://www.debang.jp/ebook.php?id=16&bbs=1156>

2. サービスの要点

- (1) 作成した“読み物”を、縦組みに電子書籍化して簡単に編集できる
- (2) 書体は明朝、ゴシック体の 2 種類のフォントから選択できる
- (3) 文字の大きさを大小 2 種類から選択できる
- (4) 電子書籍化するページのバック地を選択できる
- (5) タブレット端末に最適のコンテンツを提供できる

3. 今後の展開

電子書籍ビューアによる電子出版はもとより、紙媒体のリアルな書物への自費出版が可能となります。その際、プロの編集者が文章の添削や編集のお手伝いをする、ポイント課金のサービスもあります。

4. サービス T 料金

ポイント課金になりますが、詳細は後日、発表します。

5. URL

<http://debang.jp>

【お問合せ先 イーハトーブ株式会社 関 雅行 電話 03-3446-1158】

(別紙)

イーハトーブ株式会社 会社概要	
【設立年月日】	2007年10月
【資本金】	5,000万円(準備金含む)
【代表者】	関雅行
【決算期】	9月
【主要株主】	取締役、他11名
【事業概要】	Webサイトの開発と運営
【所在地】	世田谷区代田 5-35-26
【ビジョン】	<p>50・60代の80%近くがインターネットを使用していますが、メールや検索が主でコミュニティ・サイトへの参加はほとんどありません。</p> <p>一方、団塊世代の大量退職時代を迎え、リタイア後の彼らは、新たな生活環境や人間関係を求めています。</p> <p>既に中高年向けのコミュニティ・サービスはSNSをはじめ10サイト以上ありますが、若者向けサイトに比べ100分の1程度の規模に留まっています。</p> <p>既存のサービスは若者向けサービスのシステムを踏襲し、コンテンツを載せ換えただけなので、不慣れな中高年には馴染めるものではありません。</p> <p>『出番!』は、コンテンツは言うに及ばず中高年のリテラシーとニーズに合わせた新しいシステムでサービスを提供します。</p> <p>そして、サイト内での会員の創作・閲覧や交流活動から、個々の行動特性を収集分析し、よりユーザーのニーズに合わせたサービスを提供するとともに、そこから多くのビジネス・チャンスを生み出させる、新しいビジネスモデルです。</p>
【役員】	代表取締役 関雅行 取締役 岡田雅夫 取締役 中川佳人 取締役 平井正幸 取締役 小林恵智 取締役 原禰俊二 取締役 牛山信行 顧問 恵志泰成 顧問 江口拓 顧問 江田實

【電子書籍ビューアによる作品】

おとなのネットステージ > ログアウト

出番! DeBang! ベテランならではの知識や経験、趣味の世界を多くの人たちに伝えてみませんか。

私の部屋 百科年表 なつかし語事典 生活実用辞典 **みんなの作品** みんなの広場 あれこれ同好会

トップ > 出番!さん[1000]の部屋 > 作品 > 薔薇色のイストワール > 18 チェケッティ・メソード

薔薇色のイストワール

—ナチ占領下、パリを震撼させた舞踊家・原田弘夫の92年—



養道希彦 (ようどう まれひこ)

18 チェケッティ・メソード 「ひとこと」はこちら

「原田さん、あなたの舞は珍しいですよ」
喜多の能を学び始めて二年もしたころ、稽古を終えた千八はそう言った。原田も二〇歳の自分をすっかり受け入れていた。

「能には、力の人と技の人がいます。家元は、まさに力の人です」

千八は、そう喜多六平太を評した。六平太の謡は、確かに類まれな力強さを持ち、舞台に出るだけで、地方（じかた）たちが飛び上がるとまでいわれる迫力があつた。

「力の人は、見たところ派手ではありませんが、圧倒的な強さをもっています。一方、技の人は、巧みに舞い、変幻自在に跳んだりはねたりできます。ただし、両方を兼ね備えるのはむずかしいんです」

原田は、六平太の舞を思い浮かべた。原田から見れば、絢爛、変幻自在、巧みさ……と何もかもが備わっているように思えた。

「千八が……」

千八はそうついて、原田を直視した。

「あなたは、技と方の両方をもっている」

その視線は、おだてやすかしではないと言っていた。ほめられることが苦手な原田は、千八の視線を

背景1 背景2 « NEXT PREV » ゴシック(大) 明朝(大)

ページ: 1 (16%) ゴシック(小) 明朝(小)

【通常の作品】

おとなのネットステージ > > ログアウト

出番! DeBang! ベテランならではの知識や経験、趣味の世界を多くの人たちに伝えてみませんか。

私の部屋 百科年表 なつかし語事典 生活実用辞典 **みんなの作品** みんなの広場 あれこれ同好会

トップ > 出番!さん[1000]の部屋 > 作品 > 薔薇色のイストワール



18 チェクッティ・メソード

電子書籍ビューアで読む 

薔薇色のイストワール
「電子書籍ビューア」対応作品
作品のマークを外す

作者：
出番!さん[1000]

カテゴリー：
小説・エッセイ・ノンフィクション

マークしている人：
10人

作品一覧
公開範囲
ゲスト
閲覧権限
マークなしで閲覧可能
作成日
2011-11-11 11:11:11
作品トップ

「原田さん、あなたの舞は珍しいですよ」
喜多の能を学び始めて二年もしたころ、稽古を終えた千六はそう言った。原田も二〇歳の自分をすっかり受け入れていた。
「能には、力の人と技の人がいます。家元は、まさに力の人です」
千六は、そう喜多六平太を評した。六平太の謡は、確かに類まれな力強さをもち、舞台に出るだけで、地方（じかた）たちが飛び上がるとまでいわれる迫力があつた。
「力の方は、見たところ派手ではありませんが、圧倒的な強さをもっています。一方、技の方は、巧みに舞い、変幻自在に跳んだりはねたりできます。ただし、両方を兼ね備えるのはむずかしいんです」
原田は、六平太の舞を思い浮かべた。原田から見れば、絢爛、変幻自在、巧みさ……と何もかもが備わっているように思えた。
「ところが……」
千六はそういって、原田を直視した。
「あなたは、技と力の両方をもっている」
その視線は、おだてやすかしではないと言っていた。ほめられることが苦手な原田は、千六の視線をさげ、うつむいた。六平太の内弟子である千六が投げかけた言葉は、あまりにもまぶしかった。
「珍しいですよ。あなたは、技も力ももてる人だ」
そうくり返した後に、千六は、言葉を次いだ。
「だから私は、一所懸命に教えるんです」
もし、原田弘夫が、能を極めることに使命を感じていたなら、天に感謝しなければならぬ。しかし、彼の意識の比重は、あくまでも舞踊評論家の方であった。舞踊を稽古するだけで評論家になれるわけではない。「舞踊学」というべきものを学ばねばならない。それは、民俗学でもあり、人類学でもあり、芸術論でもあり、歴史学でもあった。何から手をつけてもよい代わりに、何を学べばOKという範疇の定めもなかった。
日本の舞踊については、小寺融吉が、さまざまなことを教えてくれた。しか

【画像を入れた電子書籍ビューアによる作品】

